

図書館ひろば



第7回「図書館ひろば」開催

鹿沼公園の紅葉も美しく気持ちのよい11月29日。「第7回図書館ひろば」が開催されました。

大集会室では午前中、相模原市書店組合専務理事、中村太郎氏より協同組合設立の経緯、公共図書館・学校図書館・子どもセンターとの関わりを話されました。その後、会場から出たさまざまな質問にも、丁寧にお応えいただきました。午後は朗読サークル「あめんぼ」さんの「グループで朗読会」。1人で詩を、2人で落語を、3人、8人で物語をと多彩な朗読会でした。会場は「あめんぼ」さんの世界に包まれました。

視聴覚室では今年も「おはなしワニーズ」さんの布絵本・布おもちゃの展示やおはなし会。相変わらず大人気です。このお部屋に入ると、子どもも大人もみんな笑顔になります。

中集会室半分のスペースで、終日、「相模原市録音奉仕会ひばり」さん、「相模原市点訳赤十字奉仕団」さんが音訳・点訳体験を、「拡大写本赤十字奉仕団」さんが、拡大写本の展示をしてくださいました。来場された方はそれぞれのブースで足を止め、興味深くご覧に

なっていました。

中集会室、もう一方のスペースで、午前中は「らいぶらいぶ」さんが「本で調べてビンゴしよう!」。問題を本で調べながらビンゴを埋めていきます。1列だけではなく、どんどん問題を解いていく子どもたち。出来上がると景品をもらって嬉しそうでした。午前中はもう一つ。「飛魚環境研究所」さんの、どんぐりを使ってサンタ人形を作るワークショップ。参加者オリジナルの可愛いどんぐりサンタがたくさんできました。お昼には、昨年に引き続き、「市立図書館修繕ボランティア」さんが修繕の実演をされました。見事な手際を間近で見ながら質問をする人もいました。午後は「藤野・図書館を考える会」さんが、読み聞かせた絵本のモチーフを切り絵にして、モビールを作るワークショップをおこないました。カッターを使った細かい切り絵の作業もありましたが、大人から小さなお子さんまで上手に作りあげました。

来場して下さったみなさま、ご協力いただいた参加団体、市立図書館の方々、ありがとうございました。



聞いて！学校図書館のこと

～学校図書館について考える学習会～開催

10月3日、相模原市立鶴の台小学校にて学校図書館学習会が開かれました。

最初に会場を提供してくださった、鶴の台小学校の先生から、図書館の紹介をしていただき、休憩をはさみ後半は、4つのテーマ（蔵書構成、利用指導、環境づくり、コミュニケーション）に沿って、ワールドカフェ方式で話し合いました。

蔵書構成では、まずは除籍。SLAが出している蔵書構成基準を参考に購入。そして教科書で紹介されている本は必須、などが話し合われました。

利用指導では、どんな内容を盛り込むか、どの時期に行うかタイミングが大事であること。また生徒だけでなく先生にも行いたいという意見も出ました。

環境づくりでは、新聞やパンフレットの利用・収納方法、書架の棚幅、高い位置の本の排架、絵本の並びなど、身近な問題が挙がりました。

コミュニケーションでは、先生との連絡方法、アピール方法が話題に。図書館は「王様の耳はロバの耳の穴」「オヤジにとっての新橋のガード下でありたい」という名言も飛び出しました。短い時間でしたが、中身の濃い話し合いが行われました。



お知らせ

読み聞かせボランティアのためのスキルアップ講座 Part4

「本を選ぶこと ～あなたは、子どもたちに何を届けますか？～」

JPIC 読書アドバイザー児玉ひろ美さんをお迎えし、読み聞かせする本を選ぶことの大切さなどを教えていただきます。

日時 2016年2月29日(月) 13:15～15:45(受付 13:00～)

会場 大野北公民館中会議室

定員 35名(先着順) 会費 無料 保育はありません

つなぐ会ホームページ <http://toshokan.org/>

メール hiroyosyamamoto@gmail.com (担当 山本)

から申し込みください(1月27日から受付開始)



「相模原市録音奉仕会ひばり」 代表 吉崎恵子さん

10月24日に開催された学習会「合理的配慮ってなんだろう」に合わせて、視覚障害者の方へさまざまな支援を行っている「相模原市録音奉仕会ひばり」代表の吉崎さんに、会の歴史や、日々の活動のようすを寄稿していただきました。11号からの後編です。

「こんな活動をしています」

「リーディングサービス事業」は

- 「蔵書」
- 「プライベート」
- 「対面音訳」

「受託製作事業」は

- 「声の広報さがみはら1日号」
- 「声の広報さがみはら15日号」
- 「市議会だより」
- 「健康さがみはら」
- 「ライブラリー情報」
- 「福祉のしおり」

「自主製作事業」は

- 「ひかり」
- 「本棚」
- 「ポシエット」
- 「天声人語・余録」

「ミニ情報」は

- 「朝日新聞社説」
- 「健康」
- 「市民財団ニュース（MOVE）」
- 「朝日歌壇・俳壇」
- 「相模経済新聞」
- 「れんきょう機関紙・わ」

「その他に」

- デージー編集をする「DAISYグループ」
- 会報を作成する「会報ひばり」
- 地域のFMラジオで音読する「エフエムさがみ・本を聴く」があります。

「最近の取り組みから…」

読者のテープからCD利用へ、切り替えを進めています。しかし、目が不自由で高齢の方が多く、新しい機材に替えることをためらう方がいらっしゃることも現実です。

現在 CD：テープ利用者の割合は9：1ほどです。これまで、テープ利用者にCDを聞いていただいたり、電話で説明したり、機材の入手方法や取り扱いを説明したりと、地道に取り組んできました。今後も、読者や委託元のご意見を聞きながら進めていきます。

編集後記

昨年末に海老名市立図書館がTSUTAYA図書館となって話題になり、10月の学習会で学んだ「合理的配慮」も含め、「開かれた図書館とは」と改めて考えました。今年もつなぐ会はさまざまな視点で、図書館と市民をつなぐ活動に取り組んでいきたいと思っております。本年もよろしくお願いいたします。(Y.N.)

図書館ひろば 第12号 2016年1月10日発行

〒252-0302 相模原市南区上鶴間4-23-3 Tel 090-4947-7147 (代表 山本)

Email tunagukai_sagamihara@yahoo.co.jp ホームページ <http://toshokan.org/>